

住宅火災による死者数のうち65歳以上の高齢者が7割を越えています

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因は、タバコ、ストーブ、コンロ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めています。日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣をとりまとめました。

- ①寝タバコは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③コンロを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

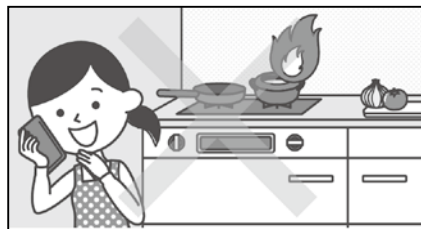
是非、ご家族で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。



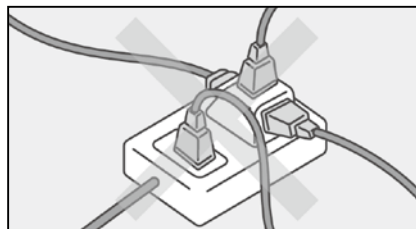
①寝タバコは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③コンロを使うときは火のそばを離れない



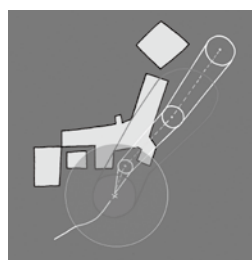
④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

問合せ 鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課 TEL 0859-35-1954

台風シーズン到来（注意するポイントは）

今年も台風シーズンが到来しました。

今年の台風の傾向として、発生数は平年並みといわれていますが、日本列島への接近数は9月以降多くなる見込みです。



また、日本列島に近いところで発生しやすく、例年より接近期間が短いため、発生してから短期間で日本列島に到達します。

この時期は秋雨前線が日本列島にかかりやすく、台風に刺激され大雨となりやすくなりますので大雨にも注意が必要です。

台風に向けて事前の対策を行いましょう。

台風が接近する恐れがあるときには

- ・ハザードマップなどで危険や避難場所の確認をしましょう。
- ・水や食料、停電対策などの確認をしましょう。
- ・身近な家族などと避難時の連絡方法などを確認しましょう。
- ・周辺の排水溝を清掃し風で飛びそうなるものをかたづけましょう。

台風接近の2〜1日前までに

- ・避難先を確認しましょう。
- ・食料を確保し停電への備えをしましょう。
- ・暴風対策として家の周りの飛びそうなるものを片付け、窓などのガラス飛散対策をしましょう。
- ・高齢者などで心配な人は、近所に一声かけてから、安全なところにある親戚や家族の家に移動しておきましょう。

台風が接近しているときは

- ・状況が悪化する前に避難をしましょう。
- ・外出を控えましょう。
- ・地域や農地の見回りもしてはいけません。

台風が接近する前に事前の対策をして、接近しているときは安全な場所まで過ごしてください。



【問合せ】総務課

82-11111

